

第2回 港南区複合公共施設（仮称）建設懇談会

次 第（書面開催）

1 議 事

- (1) 施設プランの確定について（資料③）
平面及び立面の設計プランが確定しましたので報告します。
- (2) 地域ニース機能室について（資料④）
第1回建設懇談会でご意見をいただいたコミュニティハウスの地域ニース機能室について、資料④のとおり決定しましたので報告します。
- (3) ボランティア懇談会について（資料⑤）
ケアプラザの調理室について令和3年6月3日にボランティア懇談会を開催しましたので、資料⑤のとおり報告します。

2 事務連絡

- (1) 第2回建設懇談会の内容について、9月に建設懇談会だより（第2号）を発行する予定です。建設懇談会だより（第1号）と同様に各自治会町内会会長の皆様には回覧の御協力をいただければと思いますので、宜しくお願いいたします。
- (2) 次回の建設懇談会について詳細が決まりましたら、報告させていただきます。

○配付資料

- ① 港南区複合公共施設（仮称）建設懇談会委員名簿
- ② 港南区複合公共施設（仮称）建設懇談会設置要綱
- ③ 港南区複合公共施設（仮称）図面
- ④ 地域ニース機能室について
- ⑤ ボランティア懇談会について

港南区複合公共施設(仮称)建設懇談会名簿

令和3年7月29日

敬称略

番号		名 前	所 属 な ど
1	委員長	三橋 茂樹	永野連合町内会 会長 南高台町内会長
2	副委員長	山田 敏明	上永谷富士見台自治会長
3	副委員長	阿曾 弘美	丸山台自治会長
4	委員	臼居 一郎	上野庭町内会長
5	委員	高橋 克彦	上永谷町内会長 永野地区 社会福祉協議会 副会長
6	委員	西澤 正彦	上永谷月見ヶ丘睦会長
7	委員	中山 義夫	いずみプラザ上永谷自治会長
8	委員	田村 政美	下野庭町内会長
9	委員	小山内 望	美晴台自治会長
10	委員	岡田 栄	勸永町内会長
11	委員	高橋 文典	菱興上永谷自治会長
12	委員	渡邊 正一	永野地区 社会福祉協議会 会長
13	委員	黒川 暁博	永野地区 社会福祉協議会 副会長 永野地区 民生委員児童委員協議会 会長
14	委員	池田 秀子	永野地区 保健活動推進員会 代表
15	委員	依田 秀穂	永野地区 シルバークラブ連合会 代表
16	委員	片伯部 富	永野地区 福祉ネットワーク 代表

港南区複合公共施設（仮称）建設懇談会設置要綱

制定 令和3年3月24日

（趣旨）

第1条 地域ケアプラザ、コミュニティハウス、南部児童相談所等の3施設を複合した港南区複合公共施設（仮称）の建設にあたり、市当局に対し、区民や利用者の意見を反映させるため、港南区複合公共施設（仮称）建設懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

（構成）

第2条 懇談会は、「港南区複合公共施設（仮称）建設懇談会名簿」の委員をもって構成する。

（任務）

第3条 港南区複合公共施設（仮称）に関連した施設内容について意見交換を行い、市当局に提言する。

（任期）

第4条 懇談会の設置期間は、原則として任務の終了までとする。

（会議の運営）

第5条 懇談会は委員の互選により、委員長1名、副委員長2名を置く。

2 委員長は会議の議長となり、議事を整理する。

3 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるときには、その職務を代理する。

（事務局）

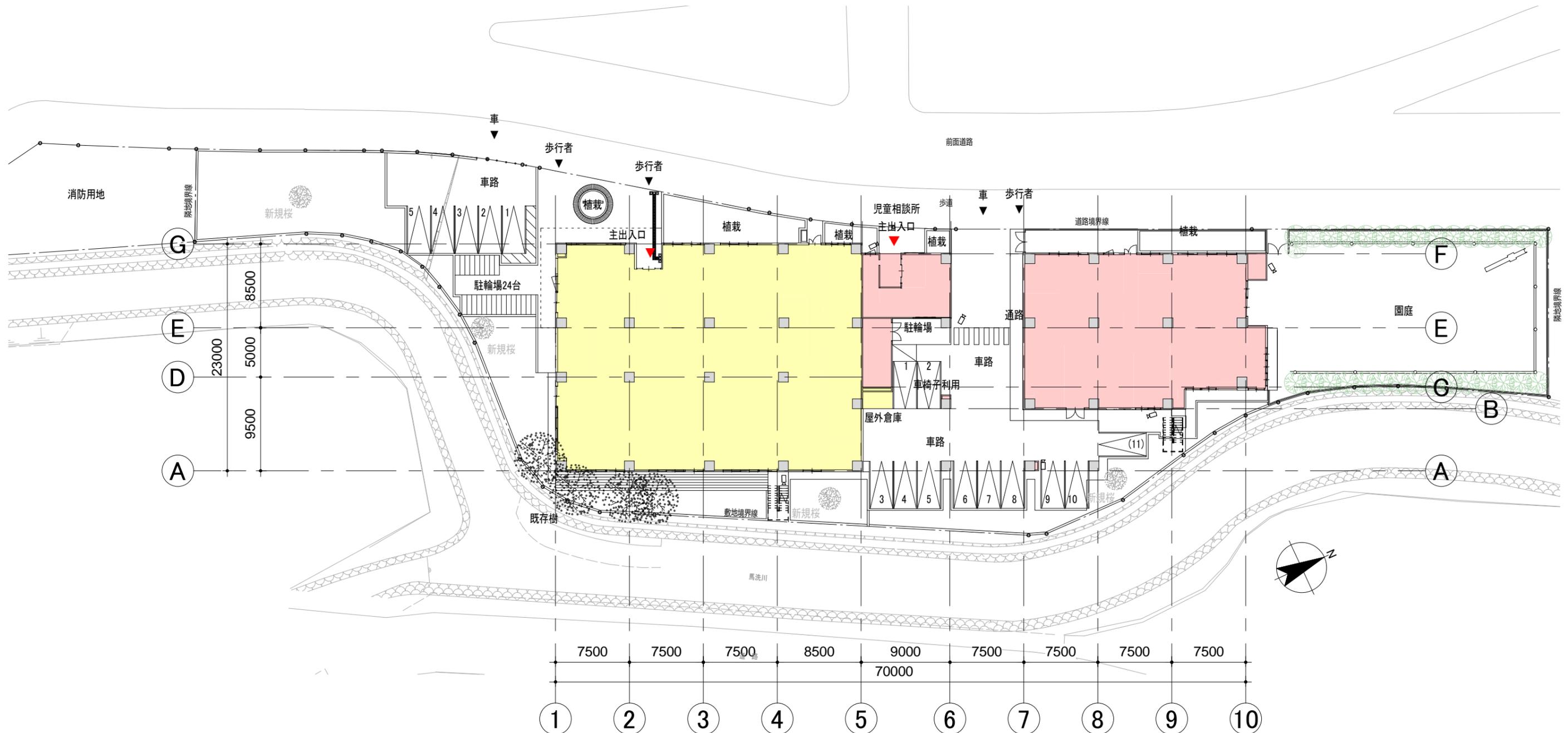
第6条 この懇談会の事務局は、港南区役所総務部区政推進課に置く。

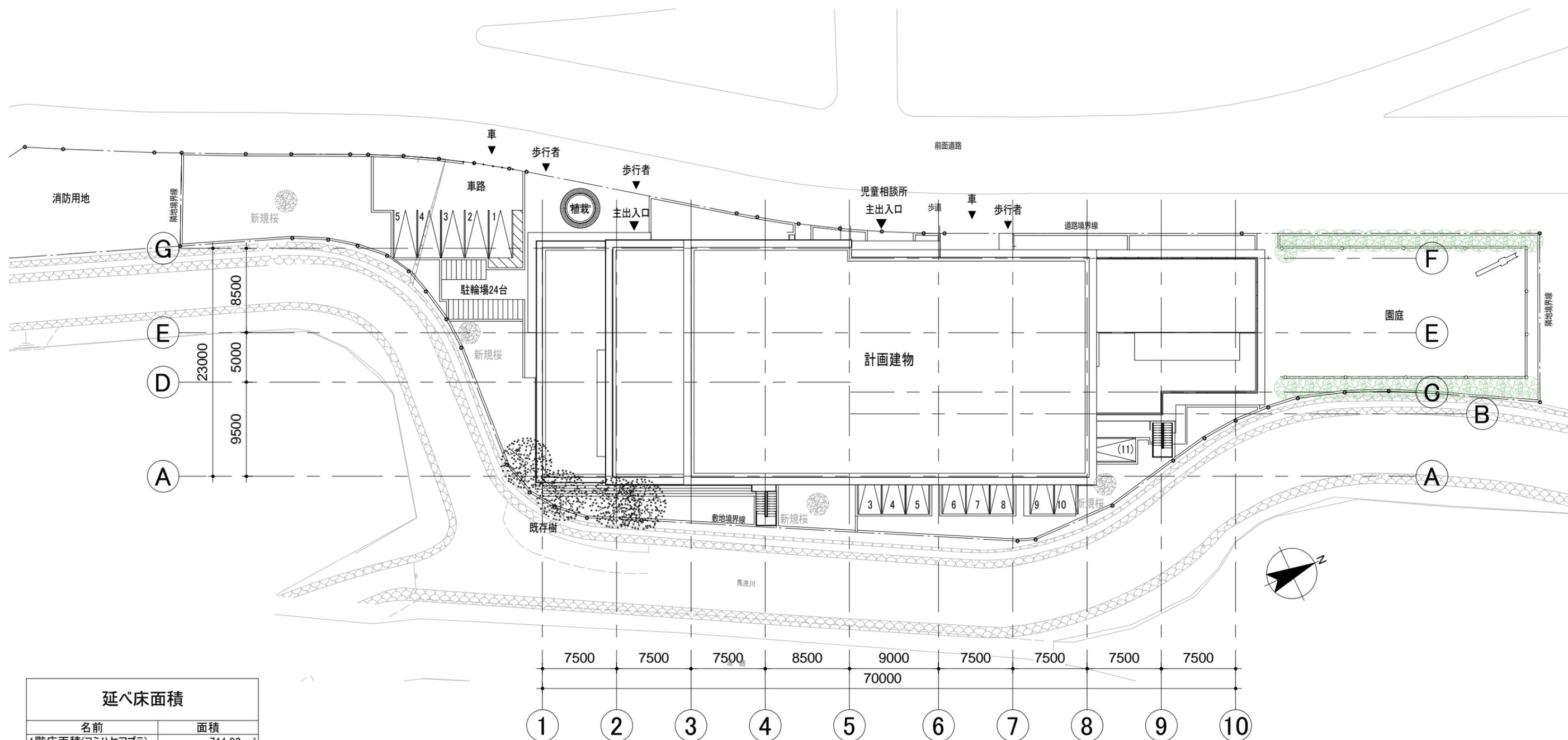
（附則）

第7条 この要綱は、令和3年3月24日から施行する。

【凡例】

- コミュニティハウス・ケアプラザ
- 一時保護所



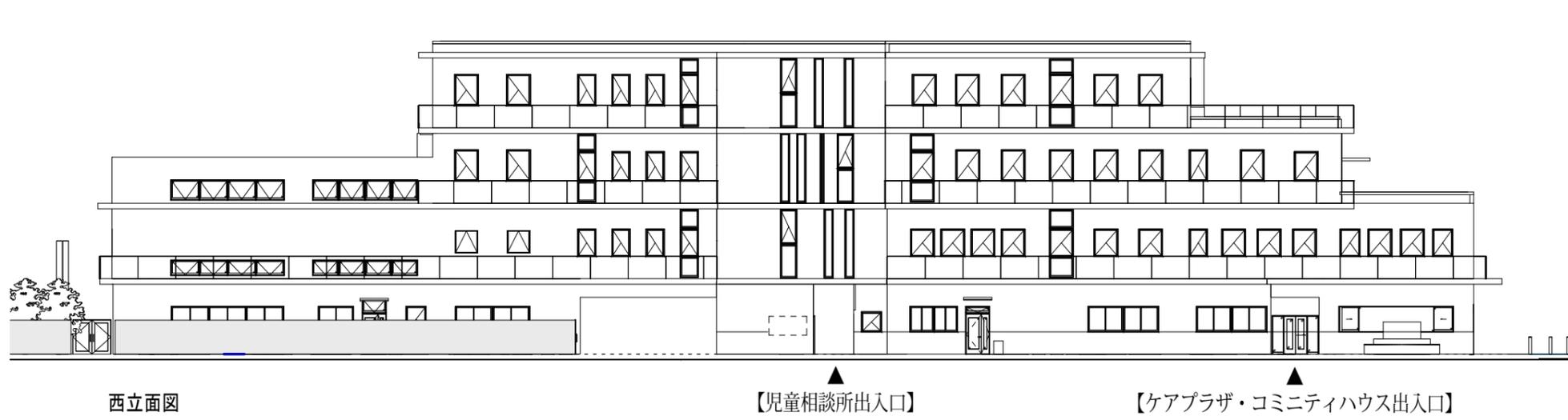


延べ床面積	
名前	面積
1階床面積(コミハケアプラ)	711.92 m ²
1階床面積(一時保護所)	360.65 m ²
1階床面積1(児相コア)	85.28 m ²
1階ピロティー面積	346.31 m ²
	1504.16 m ²
2階床面積(一時保護所)	1486.94 m ²
	1486.94 m ²
3階床面積(児童相談所)	1079.43 m ²
	1079.43 m ²
4階床面積(児童相談所)	896.00 m ²
	896.00 m ²
合計	4966.53 m ²

※数値は増減する可能性があります。

【既存の桜の木の整備方針】

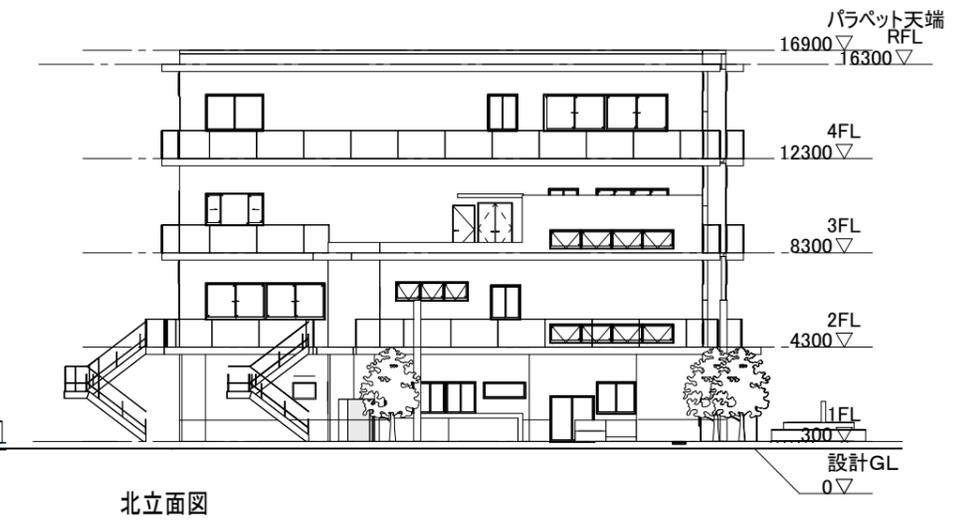
○既存を残す計画としているが、工事の際に根の状況などを確認し、残すことが難しいと判断される場合には、川沿いおよび地域利用スペースに面して、新規の桜を植樹する計画とする。



西立面図

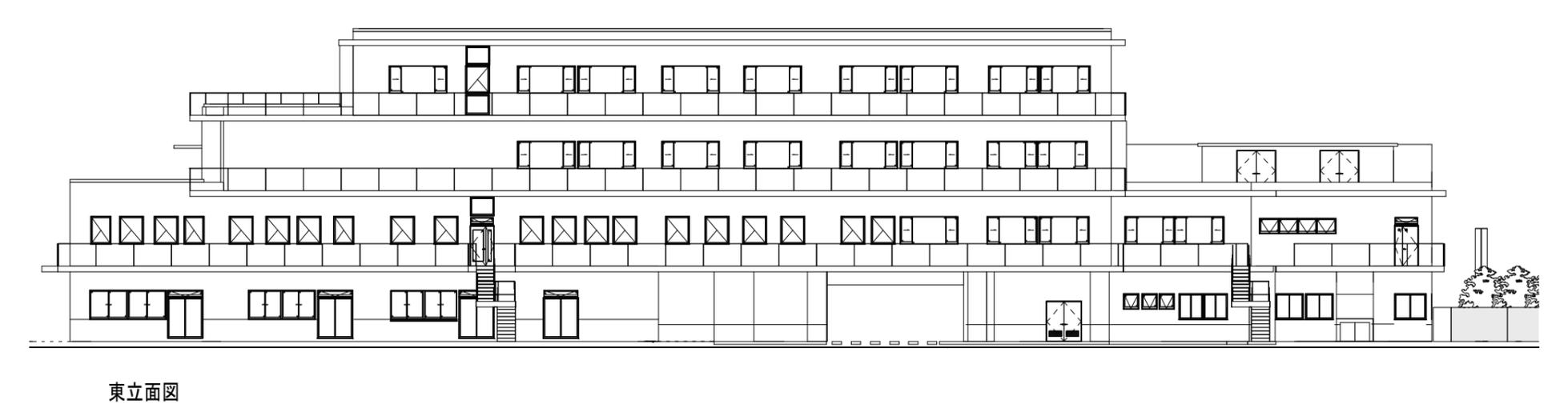
▲
【児童相談所出入口】

▲
【ケアプラザ・コミュニティハウス出入口】

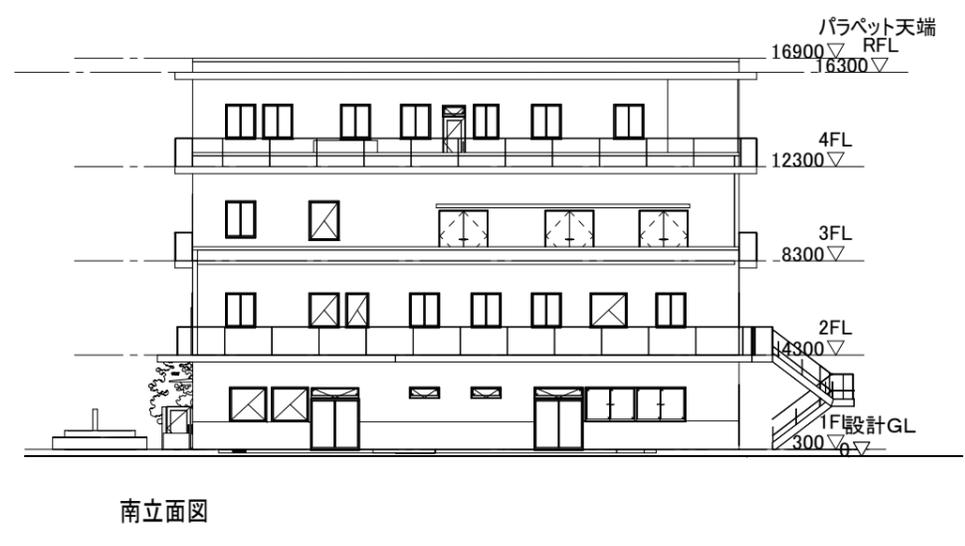


北立面図

パラペット天端
16900▽ RFL
16300▽
4FL 12300▽
3FL 8300▽
2FL 4300▽
1FL 300▽
設計GL 0▽



東立面図



南立面図

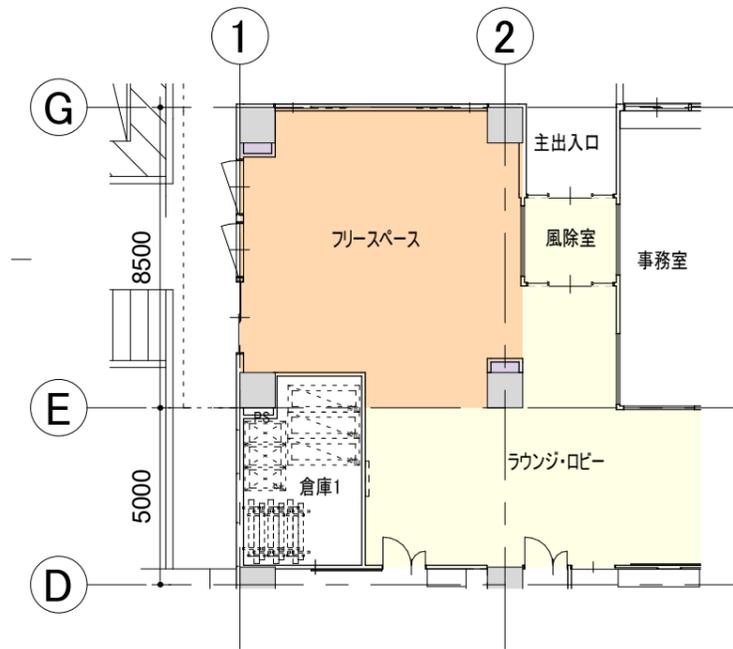
パラペット天端
16900▽ RFL
16300▽
4FL 12300▽
3FL 8300▽
2FL 4300▽
1FL 300▽
設計GL 0▽



《地域ニーズ室》

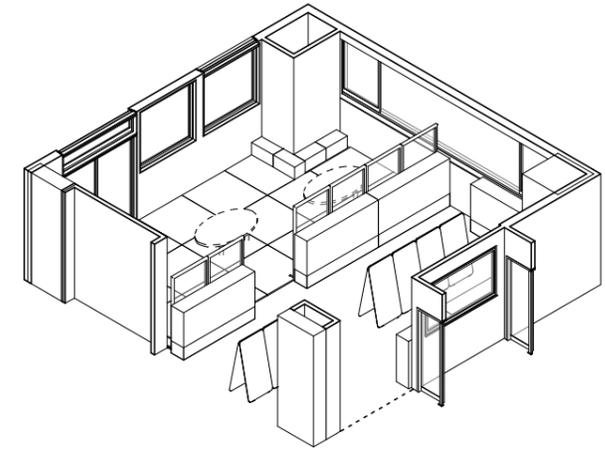
【地域ニーズ室の整備方針】

- 地域の方々からのご意見を頂いた結果、様々な利用方法や利用者が想定されることから、地域ニーズに柔軟に対応できる空間(フリースペース)とする。
- 可動式間仕切りを設置した場合、間仕切りの収納スペースが必要となり、ラウンジ・ロビーからの出入りや、見通しに制限がかかることから、空間を仕切る壁は無くした計画とする。
- フリースペース内は、様々な利用方法に対応できるよう、パーティション等の備品で容易にスペースを確保できる計画とする。

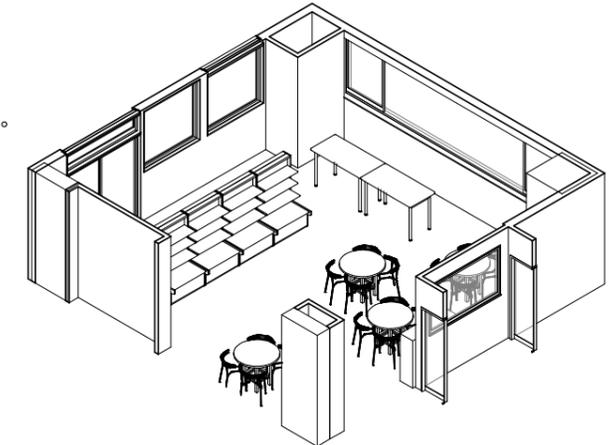


《使用イメージ》

- パターン1
『キッズスペース』と『ギャラリー』
・パーティションを利用し、利用時のサイズに合わせ、スペースを確保する。
・ショーケースなどを設置し
個展の開催や、作品展示を行う。



- パターン2
『談話・休憩』と『地域活動等(フリー)』
・椅子やテーブルを設置し
誰でも使えるフリースペースとして開放。
・棚やテーブルを配置しお弁当販売や、
作品販売の場として使用。



ボランティア懇談会について(報告)

1 概要

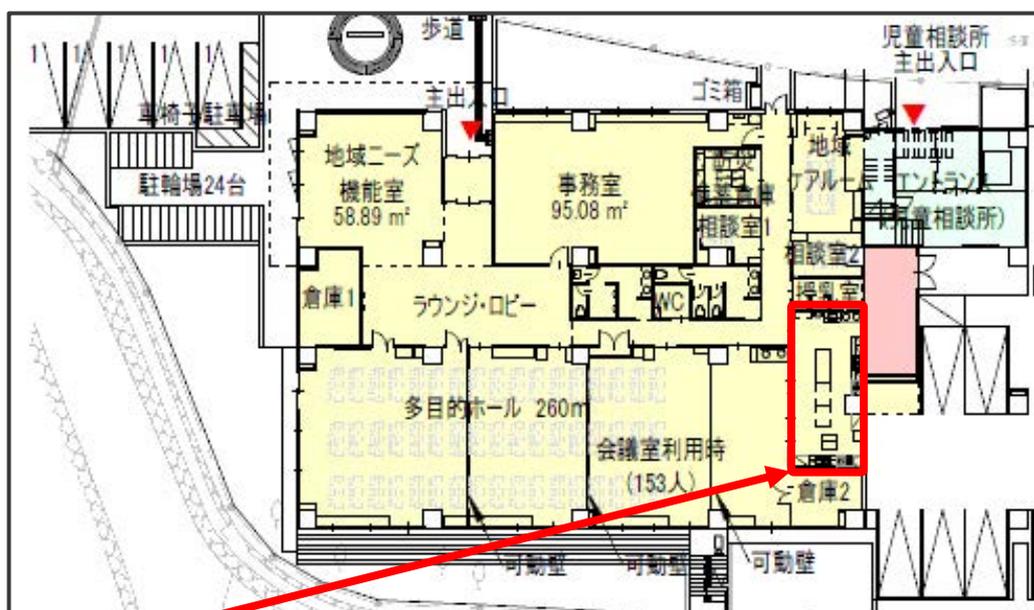
「地域ケアプラザ調理室」の利用方法をテーマに、調理台やシンク、炊飯器等の厨房用品の数量・サイズ・レイアウトやコンセントの位置などについて、既存の地域ケアプラザを利用している団体等にお声掛けし、開催しました。

- ・日 時: 令和3年6月3日(木)9:30~11:30
- ・場 所: 日限山地域ケアプラザ
- ・メンバー: 永野連合町内会(4名)、永野地区民生委員児童委員協議会(3名)、
永野地区食生活等改善推進員会(2名)、日野第一地区社会福祉協議会(2名)、
配食サービスボランティア(3名) 計14名

当日は、地域ケアプラザ調理室の標準的な設計案(資料⑤-2)を提示した上で、実際の調理室を見学しながら意見交換を行いました。具体的な意見及び回答については(資料⑤-3)の通りまとめました。

また、その意見を踏まえた変更後の図面について、(資料⑤-4)の通り報告いたします。

2 調理室について



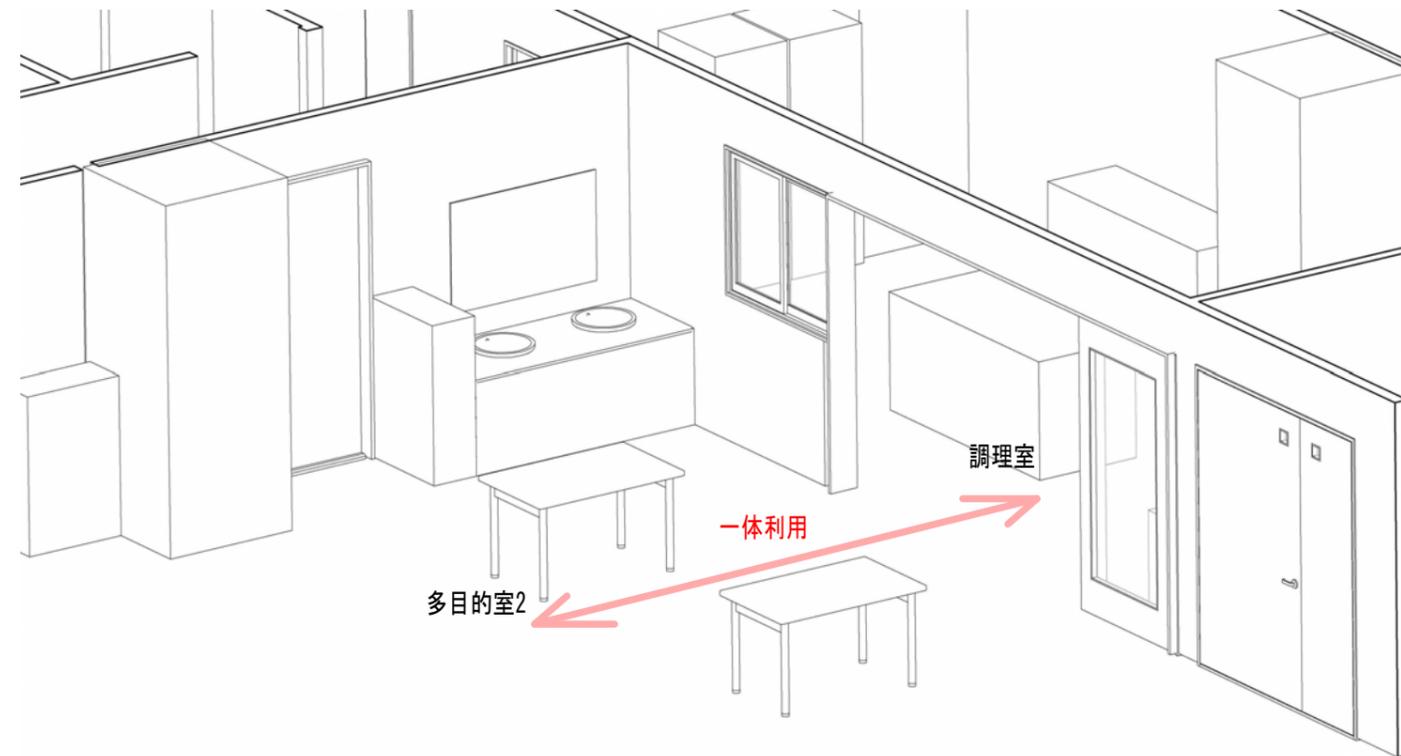
※地域ケアプラザの調理室は、上記の位置になります。(31.85㎡)

【設計コンセプト】

- ・家庭的な仕様の備品を採用し、親しみやすく温かみのある調理室とする。
(業務用の器具は使用しない)
- ・流し台、レンジは壁沿いに並べ中央に作業台を配置し作業スペースを広く取る。
- ・調理室を、より有効に利用できるように多目的室2と一体利用をする。
※右上パース参照
- ・可動式のテーブルを使用し、様々な利用要望に対応する。



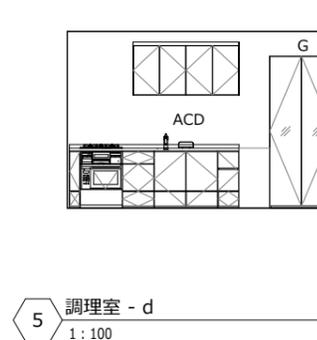
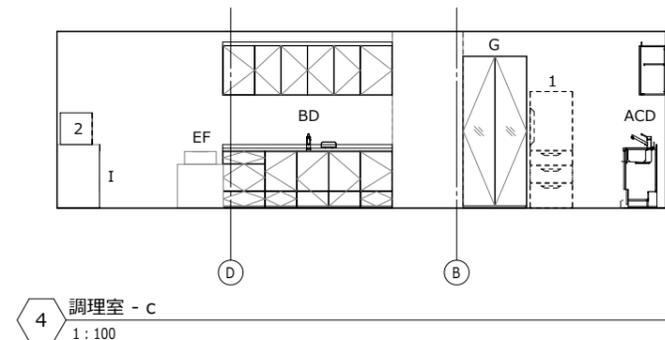
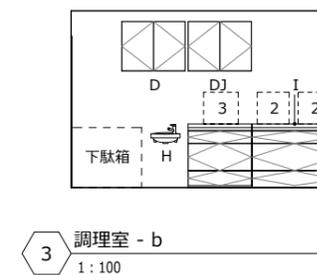
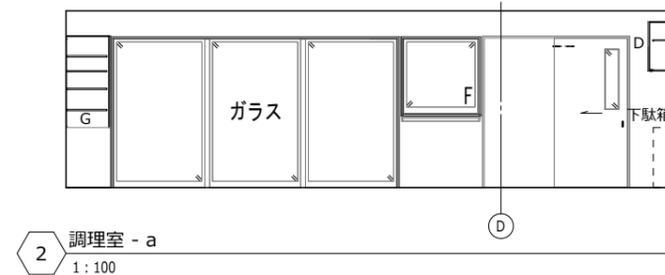
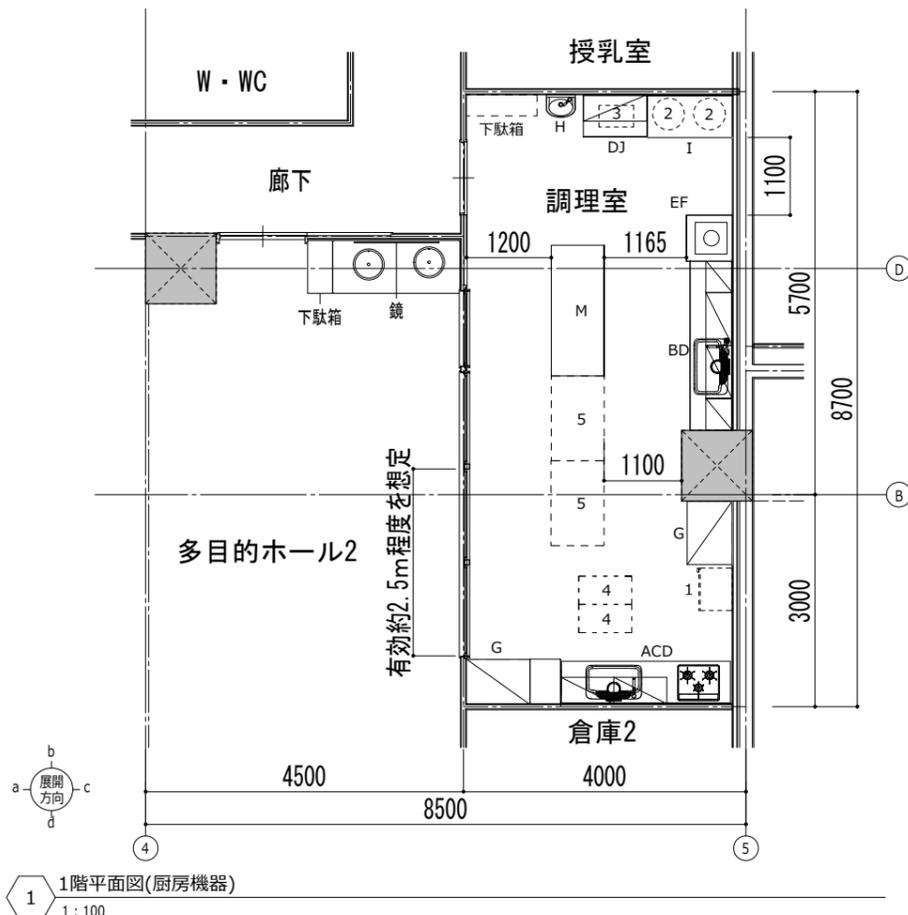
◎多目的室2と調理室の一体利用イメージ



角脚 / キャスター



※可動式テーブルイメージ

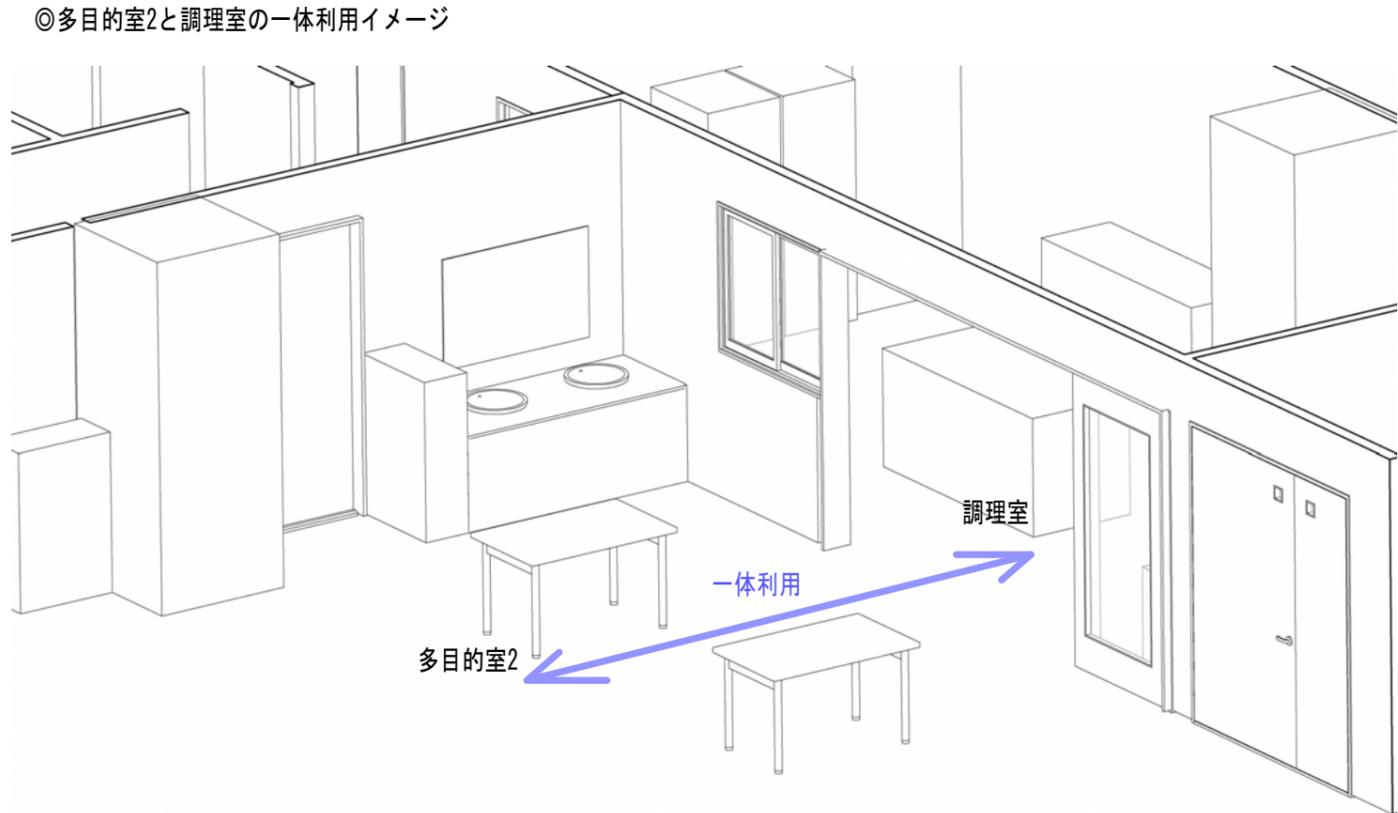


備品リスト			
工事対応備品			
凡例	器具	数量	備考
A	家庭用流し台	1	2400×600×850
B	業務用流し台	1	2400×600×850
C	家庭用ガスレンジ	1	
D	吊戸棚	3	
E	業務用コンロ	1	596×539×255
F	ガス台型オープン	1	600×550×850
G	食器棚	1	1800×640×2350×2個
H	手洗器	1	
I	ガス炊飯器置場	1	900×600×850
J	電子レンジ置場	1	900×600×850
K	レンジフード	1	
L	レンジフード	1	
M	作業台	1	1848×640×850
健康福祉局対応備品			
1	冷蔵庫	1	300～350L程度
2	ガス炊飯器	2	1.5升炊き 3,200kcal/h程度
3	電子レンジ	1	
4	ワゴン	2	配膳用
5	可動式作業台	2	多目的室利用
	調理機器・食器	1	
	壁時計	1	
	消火器	1	

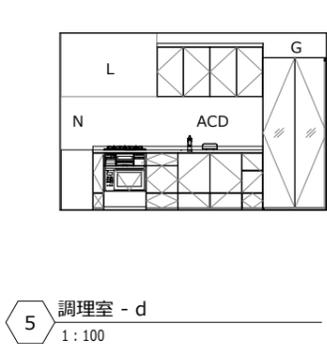
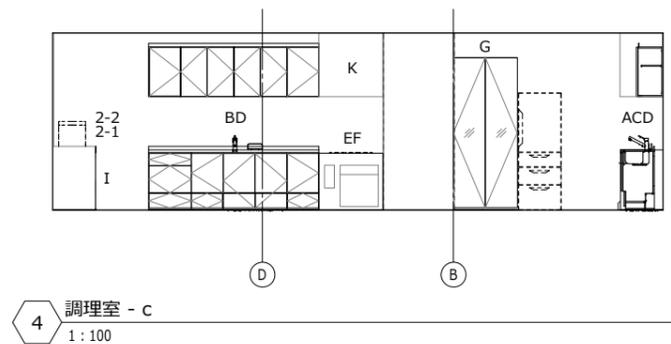
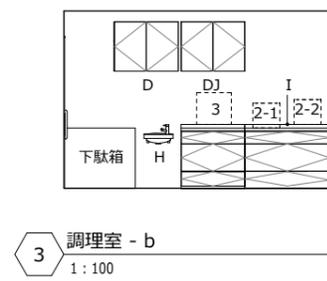
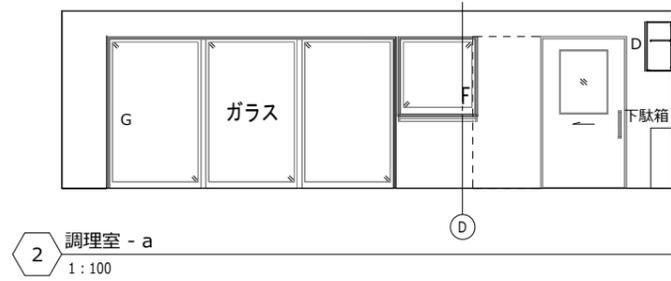
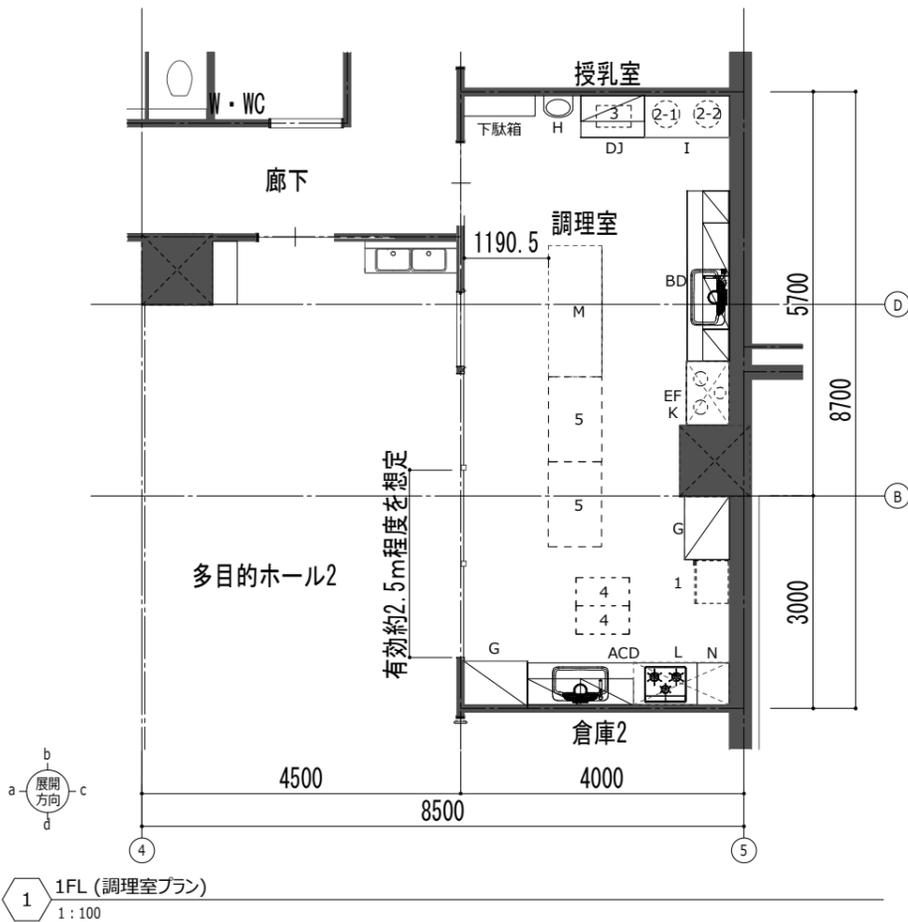
具体的な意見及び回答

	ご意見	回答・変更点
①	ガスコンロについて、家庭用3口、業務用1口では火口が少ない。	家庭用3口、業務用3口としました。
②	90食作る場合には業務用コンロが多い方がよい。 30～50食作る場合には家庭用コンロが多い方がよい。	様々な団体が様々な活動をするため、皆様の意見を踏まえ平均となるような調理室にしたいと考えています。家庭用3口、業務用3口で活動できる内容を検討いただきたいと思います。
③	下駄箱は調理室の外にある方がよい。	廊下での履き替えスペースが確保できないため、調理室内に設ける形としています。下駄箱は調理室内となりますが、使用方法を考慮した計画とします。
④	炊飯器の1つは2升炊きがよい。	1.5升炊きと2升炊きの炊飯器を置くスペースを確保しました。
⑤	流しは大きい鍋を使う場合、洗いやすいように大きくて深さがある方がよい、	大きい鍋を使用することを考慮した計画とします。
⑥	家庭用キッチンの採用については、掃除のしやすさなど機能性を考慮して決めてもらいたい。	掃除のしやすさを考慮して、機器を選定します。
⑦	家庭用コンロと業務用コンロは並んであった方がよい。	構造的な影響で、並べることができません。できるだけ近づける計画としました。
⑧	コンロの横に鍋など置くスペースがあるとよい。	業務用コンロおよび家庭用コンロそれぞれにスペースを確保しました。
⑨	調理室は広くしてほしい。	隣接する多目的室と一体利用できるような計画としました。

- 【設計コンセプト】
- ・家庭的な仕様の備品を採用し、親しみやすく温かみのある調理室とする。
(業務用の器具は使用しない)
 - ・流し台、レンジは壁沿いに並べ中央に作業台を配置し作業スペースを広く取る。
 - ・調理室を、より有効に利用できるよう多目的室2と一体利用をする。
※右上パース参照
 - ・可動式のテーブルを使用し、様々な利用要望に対応する。



※可動式テーブルイメージ



備品リスト			
工事対応備品			
凡例	器具	数量	備考
A	家庭用流し台	1	2400×600×850
B	業務用流し台	1	2400×600×850
C	家庭用ガスレンジ(3口)	1	
D	吊戸棚	3	
E	業務用コンロ(3口)	1	900×600×800
F	ガス台型オープン	1	
G	食器棚	2	1800×640×2350×2個
H	手洗器	1	
I	ガス炊飯器置場	1	900×600×850
J	電子レンジ置場	1	900×600×850
K	レンジフード	1	
L	レンジフード	1	
M	作業台	1	1848×640×850
N	物置台	1	500×600×850
健康福祉局対応備品			
1	冷蔵庫	1	300~350L程度
2-1	ガス炊飯器	1	1.5升炊き 3,200kcal/h程度
2-2	ガス炊飯器	1	2升炊き 446×374×334.5
3	電子レンジ	1	
4	ワゴン	2	配膳用
5	可動式作業台	2	多目的室利用
	調理機器・食器	1	
	壁時計	1	
	消火器	1	